

令和6年度 ひとつ星・さかど事業所自己評価

実施者		管理者、児童発達支援管理責任者、指導員 計8名 保護者向け事業所評価回収数12 (22配布)			検討会議		2024年2月14日実施
		チェック項目	はい	どちらでもない	いいえ	ご家族からの意見等	
環境・体制整備	1	指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか		○		法令的には十分な広さを確保できているが、10名の利用者が屋内で活動するとなると、狭く感じる。	
	2	職員の配置数は適切か	○				
	3	バリアフリー化されているか		○		トイレの数が少ない。	
【環境・体制整備】 改善目標、工夫している点など		基準を十分に満たす広さは確保しておりますが、利用者の多い日には窮屈な状況になっています。本年度は、施設内にある備品・おもちゃ・活動に必要な備品の保管場所を全面的に整理を行い、児童の遊ぶスペース、学習エリアの調整を行いました。しかし、収納に限りがありまだ目的ごとにスペースの確保ができていないため、引き続き環境を整えていきます。					
業務改善	4	PDCAサイクルに職員が参画しているか	○			職員会議等で改善に向けた話し合いをしている。ただ、もう少し話し合う時間がほしい。	
	5	保護者向け評価表の意向を受けて業務改善につなげているか		○			
	6	自己評価を公表しているか	○				
	7	第三者の外部評価を業務改善につなげているか	○				
	8	職員の研修の機会を確保しているか	○			年間の研修の計画を立てているが、全職員の参加が難しくさらなる工夫が必要。	
【業務改善】 改善目標、工夫している点など		日々の課題や、支援の課題については、日々の申し送りの場、職員会議を用いて検討しています。また職員会議は原則、全職員が参加できるようにし、課題や課題解決に向けた取り組みの検討をしています。本年度は、課題改善に向けた取り組みをいくつか実施してきましたが、その「振り返り」を行う機会が少なかったため、令和7年度は取り組みの実施後、振り返りを丁寧に行います。					
	9	アセスメントを適切に行い個別支援計画を作成しているか	○			個別支援計画会議の進め方を工夫し、全児童のアセスメント、児童の変化に伴う支援内容の確認をその都度実施することができた。	
	10	標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○			

適切な支援	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			職員会議にて、全員で案を出し合い、立案している。またミーティングの時間を活用して意見を出し合い、案を作っている。
	12	プログラムが固定されないように工夫しているか	○			色々な職員のアイデアを出し合いながら児童に見合った内容の支援を提供している。 色々な企画や活動を考えてくれるのでありがたい。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて課題をきめ細かに決定しているか	○			職員会議で課題や流れ等を決めているため、引き続き会議にて目標を確認しながら課題や流れ等をしっかり決めていく。
	14	個別と集団を組み合わせる支援計画を作成しているか	○			取り組む努力をしているが、個別活動の希望内容や職員体制の兼ね合いもあり、さらなる工夫をしていく。
	15	支援開始前に打ち合わせをしているか	○			毎日児童受け入れ前に打ち合わせを行っている。打ち合わせの後に出勤する職員が数名いるため、その職員にも情報が行くよう書面による情報共有に努めている。
	16	支援終了後に振り返りを行っているか			○	全職員が集まって振り返りを行うことは難しいため、ホワイトボードや日刊等を活用しながら振り返りを行っている。
	17	記録を正しく取り、検証・改善につなげているか	○			勤務時間が短い支援員の記録時間の確保が課題となっているが、記録を整理・チェックする人を配置することで以前より記録の量が増え、児童の背景等をつかむ努力している。
	18	定期的なモニタリングを行っているか	○			
	19	ガイドラインの総則の基本活動を組み合わせているか			○	

【適切な支援】 改善目標、工夫している点など		<p>プログラム等必要な事項については、職員会議等で子どもたちの様子や希望を共有した上で、予定を調整・決定しています。また、毎日子どもたちがひとつ星へ来る前に職員間でミーティングを行っております。ミーティングへの参加が難しい支援員に関しても、ミーティング内容を記録する等工夫を行い、全職員が情報共有できるようにしています。</p> <p>支援の振り返りについて、遠方へ送迎する関係で全職員がその日に集まることは難しいため、個別支援計画会議やミーティング等を活用して振り返りを実施しています。</p>				
関係機関、保護者との連携	20	担当者会議にふさわしい者が出席しているか	○			会議前に職員へ情報収集の上で管理者、児童発達支援管理者が参加している。
	21	学校との年間行事等の情報共有を適切に行っているか	○			以前と比べて、学校との情報共有、連携が密になってきている。
	22	医療的ケアの必要な子どもの主治医との連絡体制があるか			○	基本的に保護者と連絡をとるようにしている。
	23	就学前に利用していた機関と情報共有をしているか		○		
	24	卒業後の機関に情報提供しているか	○			
	25	専門機関から助言を受けているか	○			
	26	放課後児童クラブや児童館等と交流しているか	○			
	27	自立支援協議会等に参加しているか		○		していない。
	28	保護者と課題等共通理解しているか	○			面談や送迎時、保護者と情報を共有している。ケースによっては、管理者が直接その保護者と連絡を取り合いながら情報共有を図っている。
29	ペアレント・トレーニング等支援しているか			○	していない	
【関係機関、保護者との連携】 改善目標、工夫している点など		<p>児童センター等についても、希望する子ども達と相談の上で、利用しております。その際、地域の子も達と一緒に遊具を使う様子があり、ひとつ星の子どもたちと地域の子も達とでコミュニケーションが取れ、楽しく遊べるよう支援をしています。また、きこえない子どもを受け入れている他県の放課後等デイサービスとの交流の場を作り、きこえない子ども達同士で水遊びやスポーツを楽しみました。</p> <p>今後も引き続き、ひとつ星以外の環境で、同年代の子ども達と過ごす機会を保障していきます。</p>				

保護者への説明責任	30	運営規程、利用者負担等丁寧に説明しているか	○			管理者から丁寧に説明をしている。
	31	保護者からの相談に適切に助言しているか	○			管理者が主になって子育ての悩み等の対応している。 支援まで繋がっていないところもあるが、保護者の話をきちんと聞いて、気持ちを汲み取っている。
	32	父母の会等の活動を支援しているか			○	
	33	苦情体制の整備化、迅速な対応がされているか	○			全職員で情報共有を図ることで、より良い支援や解決につなげている。 最善の対応をするよう、努めているが、まだ機能面で弱いところもあり工夫が必要である。
	34	定期的に会報等発行し情報を発信しているか	○			
	35	個人情報に注意しているか	○			
	36	子どもや保護者への情報伝達に配慮しているか	○			個々に合わせた配慮を行いながら対応している。
	37	地域住民を招待する等、開かれた運営をしているか			○	
【保護者への説明責任】 改善目標、工夫している点など			活動を会報として保護者に配布する取り組みを続けています。内容の充実や発行回数の見直し等、随時対応しています。ボランティア等外部の方の受け入れは本年度はととも少なく、ボランティアにきていただけるような取り組みを引き続きしていきます。 地域との関わりについても、ひとつ星の活動に理解を示して下さっている地域の方へのお礼をする等、小さなことから地域の方と関わる機会を作るようにします。			
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル等を策定し、周知しているか	○			
	39	避難訓練を行っているか	○			
	40	虐待防止の研修機会があるか	○			
	41	身体拘束を行う際に、適切な手順を踏んでいるか			○	※事例なし
	42	食物アレルギーの子どもについて医師の指示書に基づいているか			○	その都度ご家族と連絡をとりながら対応をしている。

43	ヒヤリハット事例集を共有しているか	○		ヒヤリハットの報告書を導入することで報告が増えてきている。
【非常時等の対応】 改善目標、工夫している点など		緊急時対応マニュアルの策定・避難訓練や会報を用いた周知は行っておりますが、定期的にマニュアルの見直しの機会を作ります。また今後も定期的に全職員で確認や報告等、子ども達や保護者に分かりやすい方法で行っていきます。坂戸市の浸水想定区域に指定されている為、水害時を想定した避難確保計画の作成と避難訓練を実施しました。食物アレルギーの利用者については、医師の指導、ご家族と十分に相談の上で対応しております。		
【その他】				